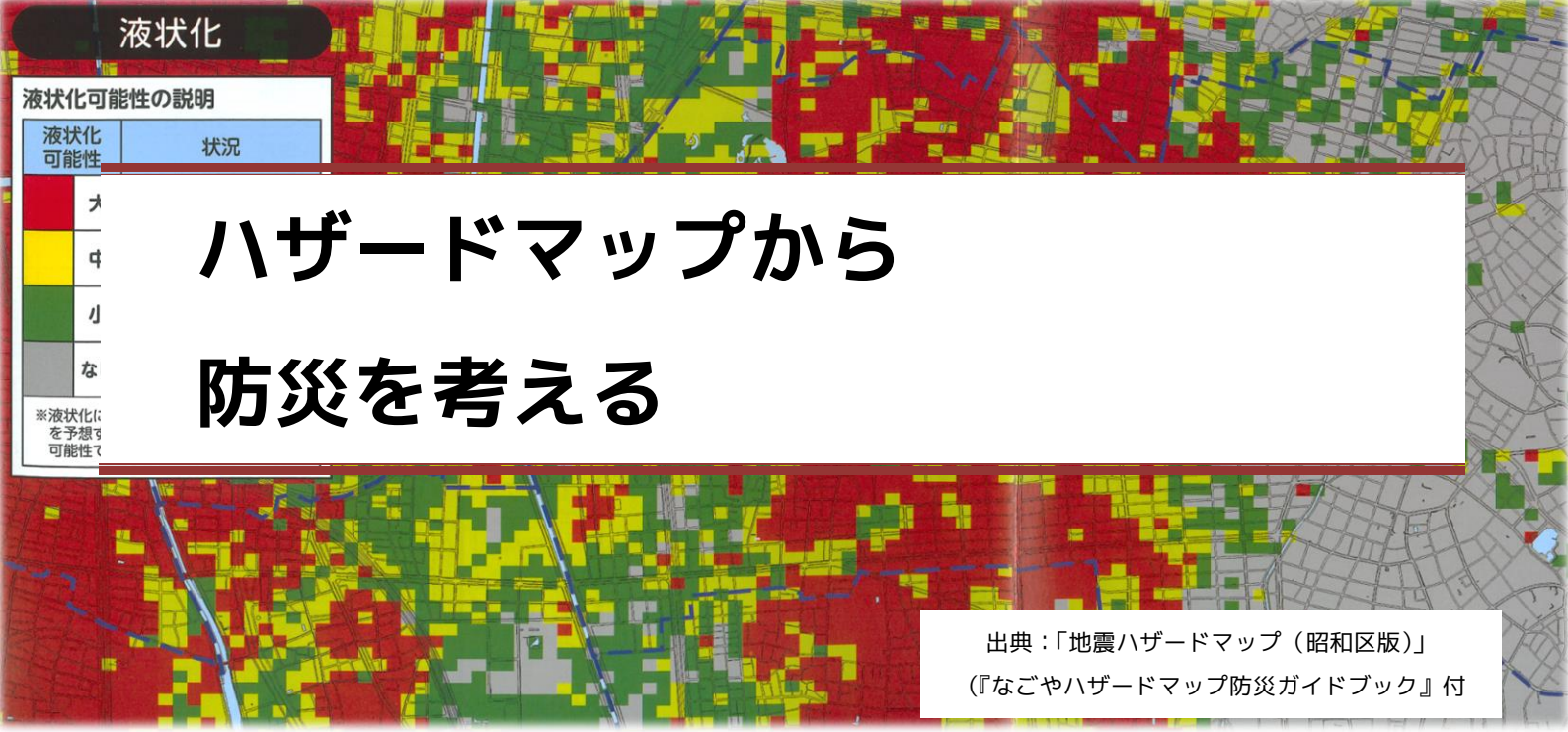

ハザードマップから防災を考える

出典：「地震ハザードマップ（昭和区版）」
（『なごやハザードマップ防災ガイドブック』付

ハザードマップは、自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などを表示した地図です。防災マップ・被害予測図・被害想定図・アボイド（回避）マップな様々な名前で呼ばれています。

ハザードマップは、その地域の地形・地盤の特徴、過去の災害暦、避難場所・避難経路など防災に関するヒントが隠されています。

1. 名古屋市が作成しているハザードマップ
2. 名古屋市作成の災害・防災に関する資料
3. ハザードマップ以外の災害マップで災害を知る
4. 最新情報をインターネットで知る
5. その他

📖：図書　🌐：インターネット

1．名古屋市が作成しているハザードマップの種類

📖『なごやハザードマップ防災ガイドブック』名古屋市［2024］［A369］

名古屋市で作成している防災情報や日ごろからの備えをまとめた冊子です。付録として、以下のハザードマップ（防災マップ）があります。

●「洪水ハザードマップ」

想定し得る最大規模の降雨により、河川が氾濫した場合に浸水が予想される地域を示したマップです。

●「内水氾濫ハザードマップ」

想定し得る最大規模の降雨により、下水道や、洪水ハザードマップで氾濫を予想していない河川が氾濫した場合に浸水が予想される地域を示したマップです。

●「高潮ハザードマップ」

過去日本に上陸した最もエネルギー規模が大きい台風と同程度の台風が、最も大きな影響を与える経路を通過することで発生する高潮により氾濫が発生した場合に、浸水が予想される地域と継続時間を示したマップです。

●「津波ハザードマップ」

最大クラスの津波がきた時のハザードや津波避難ビルについて書かれたマップです。

●「地震ハザードマップ」

南海トラフにおいて、想定し得る最大規模の地震が発生した場合の被害予測調査を行い、作成したマップです。震度と液状化のハザードや指定緊急避難場所や応急給水施設等が書かれています。

●「ため池ハザードマップ」

地震等の自然災害により、ため池の堤に万が一異常が生じ決壊した場合に、浸水が予想される地域と到達予想時間を示したマップです。

＊ハザードマップは、最新の情報を得ることが重要です。名古屋市ＨＰの防災マップのページなどで最新のものを確認してください。

2.　名古屋市作成の災害・防災に関する資料

📖『なごやハザードマップ防災ガイドブック』名古屋市［2024］［Ａ369］

前項でも紹介した、名古屋市で作成している防災情報や日ごろからの備えをまとめた冊子です。付録として、ハザードマップのほかに以下の資料もあります。

●「指定避難所マップ」

災害時における避難情報と避難所や地盤高などを示したマップです。

●「わが家のマイ・タイムライン／区防災情報」

自然災害が発生した時の避難行動のまとめと、区の地形の特徴、災害の歴史や災害リスク等がまとめられたリーフレットです。

📖『徒歩帰宅支援マップ　名古屋市版』名古屋市消防局　2008［Ａ295］

「東海地震に係る警戒宣言」が発令されて公共機関が運行停止になった場合を想定して、主要駅からの帰宅経路や「徒歩帰宅支援ステーション」などを明記したマップです。最新版は名古屋市のホームページで公開しています。（https://www.city.nagoya.jp/bosaikikikanri/page/0000000139.html）

📖『名古屋市地域防災計画』名古屋市防災会議／編集　名古屋市防災会議　［2023］［Ａ319］

市域にかかる防災に関し、市及び関係機関が処理すべき事務並びに事務の大綱を中心として、災害予防、災害応急対策及び災害復旧について定めた資料です。ＣＤ-ＲＯＭ版もあります。

📖『名古屋市災害対策実施計画』名古屋市防災危機管理局／編集　名古屋市防災危機管理局　2024　［Ａ319］

市の災害対策をハード・ソフト両面から総合的かつ計画的に推進するため、2024 年度～2028 年度の計画期間で新たに策定されたものです。

📖『風水害時あなたの身にせまる危機的な状況をイメージできていますか?』

名古屋市防災危機管理局　2024　［A369］

想定し得る最大規模の風水害リスクシナリオとして、災害の発生前から災害後以降に発生し得る被害の様相や身の回りで起こる状況、リスクを時系列で具体的にイメージできるように整理したリーフレットです。名古屋市のホームページでは、より具体的にイメージできる動画も公開されています。

（https://www.city.nagoya.jp/bosaikikikanri/page/0000173145.html）

3.　ハザードマップ以外の災害マップで災害を知る

📖『名古屋市浸水実績図』［名古屋市緑政土木局河川部（製作）］　［Ａ45］

平成１２年の東海豪雨や平成 16 年の集中豪雨などの浸水区域が記載された図です。災害ごとに図が分かれています。

📖『土地条件図』国土地理院／編　国土地理院　1968　[NA45]

土地条件調査の成果を基に、主に地形分類（山地、台地・段丘、低地、水部、人工地形など）について示した図です。

📖『直轄河川防御対象氾濫区域図　中部版』建設省中部地方建設局／［編］

建設省中部地方建設局　1991　[NA5172]

国が管理している大河川の堤防等によって洪水の氾濫から守られるべき氾濫区域について、範囲と区域内の地盤高の状況を図示したものです。「庄内川」「木曽川」など中部地方の１４の河川を確認できます。

📖『アトラス水害地形分類図』大矢雅彦/著　早稲田大学出版部　1993　［N5174］

洪水を受ける地域の地形を重点的に分類し、分類された地域的要素及びその組み合わせの特色から洪水の状態を推定する全国の水害地形分類図を確認できる資料です。

📖『都市圏活断層図』国土地理院／［編］　日本地図センター　1996　[A45]

大地震の際に大きな被害が予想される都市域とその周辺について活断層の位置を詳細に表示した図です。

📖『濃尾平野地域地盤沈下等量線図』東海三県地盤沈下調査会　2010　[455]

地盤沈下量を等値線で表示した図です。

4.　最新情報をインターネットで知る

「名古屋市（災害に備える）」名古屋市

(http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/405-5-0-0-0-0-0-0-0-0.html)

ハザードマップや災害に関する資料など災害への備えに役立つページです。「名古屋市帰宅困難者退避場所マップ」や、地形、歴史、災害リスク、防災活動状況など、防災に関連する情報を 266 学区ごとにまとめた「地域防災カルテ」も確認できます。

「名古屋市都市計画情報提供サービス」名古屋市（https://www2.wagmap.jp/nagoya-tokei/Portal）

都市計画情報、都市計画基本図情報ほか、地震災害危険度評価図情報があります。

「ハザードマップポータルサイト　～身のまわりの災害リスクを調べる～」国土交通省

（https://disaportal.gsi.go.jp/）

防災に役立つ災害リスク情報などを地図や写真に自由に重ねて表示できる「重ねるハザードマップ」や全国の市町村が作成したハザードマップを地図や災害種別から検索できる「わがまちハザードマップ」など見ることができます。

「防災科学技術研究所（NIED)」国立研究開発法人防災科学技術研究所（http://www.bosai.go.jp/）

「リアルタイムハザード・リスク情報」のほか、地震・津波・火山・台風・積雪などあらゆる災害に備えるためのデータベースシステムなどを見ることができます。

5.　その他

📖『防災・減災につなげるハザードマップの活かし方』鈴木康弘／編　岩波書店　２０１５

ハザードマップの見方から活かし方までをわかりやすくまとめた本です。

作成：名古屋市図書館（2024 年 12 月改訂）